

(様式1)

平成30年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 025	提案機関名 農業技術センター普及指導部									
要望問題名 施設キュウリ栽培における購入苗の活着向上対策										
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】 施設キュウリ栽培では、育苗作業の省力化や施設の有効利用のため、セル成形苗やアースストレート苗などの購入苗の導入が増加している。現在、約半数の農家が購入苗を使用している。しかし、購入苗は輸送しやすいように水切りをして発送される。水分ストレスから慣行苗に比べ活着が遅く、初期生育が遅れる。生産現場では、アース苗の根鉢を包む不織布資材を除去して直接定植したり、セル苗到着後すぐに定植するのではなく、土壌水分の多い環境に数日おいてから定植する例も見られる。 そこで、到着した苗の適切な処置によって、初期生育を促進させられるような管理方法について、技術確立をお願いしたい。 (参考) <table border="1"><tr><td></td><td>栽培面積</td><td>栽培者</td></tr><tr><td>平塚市 半促成</td><td>15ha</td><td>40名</td></tr><tr><td>抑制</td><td>23</td><td>51</td></tr></table> ※出典は生産出荷近代化計画			栽培面積	栽培者	平塚市 半促成	15ha	40名	抑制	23	51
	栽培面積	栽培者								
平塚市 半促成	15ha	40名								
抑制	23	51								
解決希望年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内									
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター <input type="checkbox"/> ②畜産技術センター <input type="checkbox"/> ③水産技術センター <input type="checkbox"/> ④自然環境保全センター									
備考										

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産技術部野菜作物研究課
対応区分	<input checked="" type="checkbox"/> ①実施 <input type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合) 野菜類の高品質・安定生産技術の開発 ア野菜類の栽培法の確立 (ウ)野菜類の省力化技術の開発			
対応の内容等 購入苗の利用農家が増え、購入苗に合った肥培管理が必要であるという現場の状況を踏まえて、対応する必要があると思います。当課では、平成27年度から購入苗利用を前提として、2本仕立て法が収量等に及ぼす影響について試験を行っておりますので、この課題の中で、購入苗利用に合った苗の管理法についても検討していきます。			
解決予定年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内		
備考			